

発想力を鍛える	履修年次	1	
	単位	2	
高田 靖子	配当期	後	
	授業方法	演習/対面	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>将来むかえるビジネス生活場面において起こりうる問題や課題に対して、効果的・効率的に解決できることが求められている。そこで本講義は、ビジネスパーソンに必須の能力である「発想力・創造力」=柔らかい頭を持って「革新的に問題を解決する能力」を養うためのものである。この科目のねらいとして、発想力を発揮していくために①コンセプトラニングとしてどのような考え方・意識が必要なのか②スキルトレーニングとしてどのようなスキル・技法を身に付ければよいのかについて理解・体得する。具体的には①では、a. 発想力が必要な背景を実感する、b. 発想力の発揮を、状況の認識・目的の創出・手段の創出の3つに分けて理解する、c. 頭のサビ=知覚上の障害、文化というカタチにとらわれることから生じる障害、感情がもたらす障害を知って発想力を発揮する際、これらの障害に陥らないようにする、d. 発想するための思考とはどのようなものか、思考の基本モデルを理解する、e. 問題意識を高く持つ。②では発想力を活用した革新的問題解決の実践(a. 問題解決とはどのようなものなのかを理解する、b. 問題・課題発見・形成に使える技法の習得、c. 問題に合わせた各種アイデア発想技法の習得、d. 発想後のアイデアの評価・まとめ技法の習得)が基本となる内容である。</p> <p>科目の理論的背景は「認知心理学」である。理論と実践の間にギャップがないよう、企業での問題解決の経験・ノウハウに支えられた内容とする。授業の基本的な進め方はグループ演習とし、テキスト・資料はその都度配布する。授業で使用するPPTなどの教材は全て manaba の教材フォルダーに入れて活用してもらう。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想するために必要な考え方・価値観を身につけ、自分の意見を主張できるようになる。</li> <li>・チーム発想の技法とノウハウを身につけ、そのリーダーとして実践できる。</li> <li>・上記2つを基に、革新的問題解決をプロセスに沿って効率的・効果的に実践できる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
(1)課題の提出(2)定期試験(3)出席(グループ討議のプロセスと成果を含む)(4)授業外学習により、総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	発想力発揮の必要	8	問題点発見の技法 KJ法
2	発想力に関係する基礎概念の理解	9	アイデア発想技法 ブレインストーミング法
3	発想力を妨げている要因の理解	10	現実問題への適用
4	問題点発見の技法・欠点列挙法	11	アイデア発想技法 焦点法とNM法
5	問題点のまとめ技法	12	アイデア発想技法 NM法演習
6	問題を構造化する技法としての因果関係図法	13	アイデア発想技法 応用実践演習
7	論理的思考力の確認	14	アイデア発想技法 応用実践演習